

ジャーナリズム史 I 2013

文学部新聞学科開講科目

2年次必修

半期 2単位 I II (春・秋)履修

ジャーナリズム史 I 2013

- 鈴木雄雅(すずき ゆうが)
- 上智大学(新聞学科)
<http://pweb.cc.sophia.ac.jp/s-yuga/>
<http://pweb.cc.sophia.ac.jp/s-yuga/profile.htm>

Email: HAF0025@nifty.ne.jp

研究室 7号館11階

- 「新聞を読んで」『東京新聞』
コラム



第1回・授業内容 4月16日

- 授業サイト
 - <http://pweb.cc.sophia.ac.jp/s-yuga/gakubu/JHindex13.html>
 - 講義概要
 - 注意事項
 - 評価
 - 講義日程 ほか
 - その他 授業評価
- 4月～7月:コミュニケーション史、日本のジャーナリズム史(明治期)
 - 課題・試験
 - 10～1月:日本のジャーナリズム史(大正・昭和・平成)
 - 課題・試験

ジャーナリズム史

- **ジャーナリズム**の発展について概説する。
- 文字の誕生から紙、印刷などの複製技術の出現、通信、交通手段の発展が**ジャーナリズム**の形式を規定していく状況を眺める。
- さらに幕末に新聞、雑誌が出現してから近代新聞が成長し、その過程で**ジャーナリズムの機能**がどのように近代日本の社会発展と関わりあってきたかを考察する。

ジャーナリズム史 I

- ジャーナリズムの発展について概説する。文字の誕生から紙、印刷などの複製技術の出現、通信、交通手段の発展がジャーナリズムの形式を規定していく状況を眺める。草創期(世界)から～19世紀まで。

注意事項

- 出欠の有無は講義開始時にとる。遅刻者が講義終了後自己申告しない場合は欠席扱い。
- 講義中の飲食、私語は厳禁。

授業は

- 毎週火曜日2時限 12-302教室
- 授業HP <http://pweb.cc.sophia.ac.jp/s-yuga/gakubu/JHindex13.html>
- 文献HP <http://pweb.cc.sophia.ac.jp/s-yuga/gakubu/JHref.htm>
- 授業進行 <http://pweb.cc.sophia.ac.jp/s-yuga/gakubu/JHlec13.html>
- hpジャーナリズム

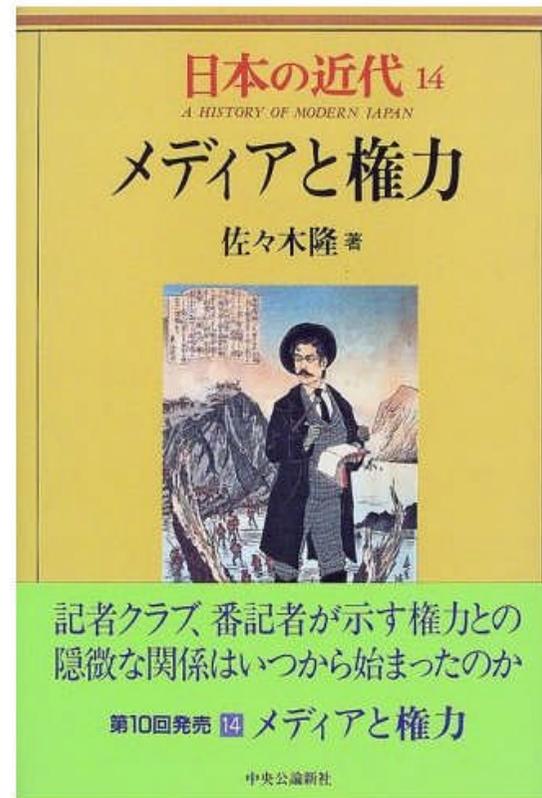
評価に関して

- (a) 欠席が3分の1を超えた場合、単位の取得は難しい。
- (b) レポートや課題の提出また試験への参加を怠った受講生に対しても同じである。
- (c) 評価は通年：出席(20%)、リアペ・アサイメン・授業参加(30%)、試験(50%)、などを通じて総合的に判定する。

教科書・参考書/課題提出

- 春原昭彦 武市英雄(編)
『日本のマス・メディア』日本評論社、2004
- 春原昭彦『日本新聞通史[四訂版]』新泉社、2003
- 春原昭彦『新聞経営の先人』日本新聞協会、2004
- 佐々木隆『メディアと権力』(日本の近代14、中央公論新社)
- 土屋礼子編著『近代日本メディア人物誌—創始者・経営者(編)』(ミネルヴァ書房、2009)
- 佐藤 卓己『現代メディア史』(岩波書店、1998年)
- 鎌田 慧『反骨のジャーナリスト』(岩波新書新赤808、2002年)
- 宮地正人『日本通史Ⅲ 国際政治下の近代日本』山川出版社
- 遠山茂樹『昭和史<新版>』岩波新書 D130
- 新聞(現物、複製)を読んで 締切日＝前期6月末日まで A4判 1枚

- ・春原昭彦・武市英雄(編)『ゼミナール 日本のマス・メディア 第2版』(日本評論社、2004年)
- ・佐々木隆『メディアと権力』(日本の近代14、中央公論新社)



履修学生へ

受講条件

マス・メディアへの積極性

- 日常生活において、マス・メディアと積極的にかかわり、活字媒体・放送媒体をはじめとして、映画や広告、ニューメディアなどに関心があること。
- 各講義時にはニュース報道や時事問題などのトピックについて質問や解説を行うので常にそうした事柄に目を向けることが望まれる。

例えば、この講義のキーワードは、

- ジャーナリズム
- メディア
- マス・メディア
- マルチメディア
- (マス・)コミュニケーション
- 犯罪報道と人権
- プレスの自由
- 言論の自由
- 宣伝、流行(語)
- 世論操作
- キャンペーンなど

→ 日本新聞協会

1. 日本新聞年鑑
2. 新聞研究(月刊)
3. 新聞協会報

→ NHK

1. NHK放送年鑑
2. 放送研究と調査

→ 日本民間放送連盟

1. 民放年鑑
2. 民間放送
3. 月刊民放

- 電通広告年鑑
- 映画年鑑
- 出版年鑑
- メディア白書
- インターネット白書
- 情報通信白書(総務省)
- 総合ジャーナリズム研究(季刊)

連休明けまでのアサイメント

- ジャーナリズムとは 語源、定義を調べてみよう。
 - まずはテキストから
 - **出所を明示**。誰が言っているのか。何に載っていたのか。
 - いつ頃から言われ始めたのか。
 - 名言はある？
- A4判 1枚程度

ジャーナリズム史を学ぶ意味

- 歴史観 事実・真実・真理の探求
- ジャーナリズムに何が可能か
- ジャーナリズムの発展・成長の歴史
- ニュースの歴史
- Journalism/journalists とは
- 言論の自由 とは

ジャーナリズム史の授業(学科科目2年必修)

- ジャーナリズム史を学ぶ意味
歴史観 事実・真実・心理の探求
ジャーナリズムに何が可能か
ジャーナリズムの発展・成長の歴史
 - マス・メディアの発達
- ニュースの歴史
 - journalism/journalist とは 言論の自由とは
 - NV=T・A・I・HI 5W1H 関の6元素*

*時間的近接性・距離的近接性・著名性・異常性・進展性・情操性

ジャーナリストとは：公共性、倫理観、正義感、信頼

- 人に会うのが仕事 情報アンテナを研ぐ
- 社会正義
- ニュースセンス：疑ってかかる、素朴な疑問
- 知的好奇心：食わず嫌いになるな
- 歴史の証人 > = < 事実の記録者
- 体力、知力、気力、好奇心と感動
- 冷静さ、常識、倫理、公共性(public)